

表：丹後沿岸の現況把握事項と課題

現況把握事項			海岸保全の課題	
防護に関わる こと	2-1-1(1) 地形、地質	沿岸の地形等	侵食に対する防護	本沿岸の砂浜海岸は、主として浜の安定性の高いポケットビーチ(両端に岩場を有する)の海岸であったが、一部の海岸では侵食傾向がみられたため、離岸堤等により対策がなされ、近年は、人工リーフなど景観や利用さらには環境に配慮した海岸保全対策が検討され、一部で実施されている。海岸防護の検討に当たっては、対象海岸の漂砂特性を充分把握した上で、周辺の環境や利用にも配慮した、長期的な海浜の安定化のための対策を検討することが課題である。
	2-1-1(3) 気象、海象	沿岸における気象状況など		
	2-1-2(1) 沿岸の波	沿岸における波向 沿岸における波高		
	2-1-2(2) 漂砂特性と地形状況変化	代表3海岸における漂砂特性、地形の変化	越波・浸水に対する防護	沿岸の多くは山地が海に迫る海岸であり、地盤が低く背後に集落や農地を控え、越波・しぶきを受けやすい箇所がある。護岸などの整備、補修とともに前面に岩礁や砂浜を有する海岸では、自然の消波機能を守り、活かす対策が課題である。また、日本海沖での津波の発生確率は太平洋沿岸と比べて小さく、津波による過去の被害はないが、ソフト対策を含めた津波対策についても配慮しておく必要がある。
	2-1-2(3) 海岸保全区域の 現況と変遷	現在の海岸保全区域とその状況		
		現況の海岸保全施設 過去の被災状況		
環境に関わる こと	2-1-1(2) 自然景観	沿岸における主な自然景観	生物の生息・生育環境の保全	貴重な植生、貴重な動物類(特に鳥類)、貴重な昆虫類等が海岸沿いに分布し、また海域では岩礁性の海岸を中心にして藻場が広く分布している。悪化が見られる一部閉鎖性水域の水質改善も合わせ、これらの保全が課題である。
	2-1-3(1) 水質・底質・流入河川	水質・底質・流入河川の現況		
	2-1-3(2) 陸域の生物	植物、昆虫類、鳥類の分布、生息状況	優れた海岸景観の保全	丹後沿岸は、日本三景の一つである天橋立を始め多くの優れた海岸景観を有し、これらは貴重な観光資源であるとともに地域の誇りとなっているが、近年、砂浜の侵食や人工構造物による景観への影響がみられるため、海岸景観の保全が課題である。
	2-1-3(3) 海域の生物	魚介類の生息状況		
		藻場の分布状況と変動		
	2-1-3(4) 自然環境の保全状況	自然公園等の状況		
		鳥獣保護区設定の現況 保安林設定の現況		
2-1-3(5) ゴミの分布状況	沿岸ゴミの状況	自然環境に対する人為的な影響の緩和	近年、海岸では砂浜への車両乗り入れや海岸への投棄ゴミや漂着ゴミなどの人為的な要因による自然環境の悪化が見られる。また、平成9年1月のナホトカ号の油流出事故に代表されるように、海岸の環境に大きな影響を与える突発的な事故も発生していることから、地域と連携した対応が課題である。	
利用に関わる こと	2-1-1(4) 交通	沿岸及び沿岸に至る主要な交通機関	地域の特性や動向と連携した海岸整備	海岸背後地の土地利用や道路網の整備などのまちづくりと連携し、地域と一体となった海岸整備が課題である。
	2-1-1(5) 地場特産	沿岸市町の主要な地場特産物		
	2-1-4(1) 地域の生活利用	採取漁業と大規模漁業		
		生活交通路としての利用		
	2-1-4(2) イベント、祭	イベントや祭での利用	様々な沿岸利用への配慮	丹後の沿岸域では、地域に密着した生活利用をはじめ砂浜の海水浴利用を中心とした観光・レクリエーション利用、伝統行事などでの利用、海岸の漁港・港湾利用、湾内地域の養殖利用といった漁業利用など、様々な沿岸利用がなされており、海岸の保全や整備にあたっては、これら利用への配慮が必要である。
	2-1-4(3) 観光、レジャー施設	観光資源、レジャー施設設置場所としての利用		
	2-1-4(4) 海水浴場	海水浴場の設置箇所		
	2-1-4(5) 観光入り込み客数	沿岸市町の観光客数		
	2-1-4(6) プレジャーボート係留数	船舶係留の状況	海辺へのアクセスの確保	丹後沿岸においては、山地が直接が山に迫る海岸が多い反面、砂浜海岸や河口部などの低地帯、磯遊びなどができる岩礁地帯などがあり、人々の憩いの場として重要である。これらの海辺へ近づき、海とふれあえるよう海辺へのアクセスを向上させることが課題である。
	2-1-4(7) 港湾の利用状況	沿岸3港湾の利用状況		
2-1-4(8) 漁業の状況	漁獲高、養殖漁獲高など 漁港の設置箇所と種別 遊魚の状況			

2-4-2 地域の課題

調査範囲	防護面	キーワード	環境面	キーワード	利用面	キーワード
久美浜町 網野町	<p>(現況) ・日本海に直接面している砂浜海岸は、一部侵食傾向がみられる。 ・湾内の既設護岸に一部老朽化がみられる。</p> <p>(地域の意見) ・海岸侵食への対応 ・早急な事業進捗</p>	<p>海岸侵食 ・久美浜海岸など 護岸の老朽化 ・湾内護岸</p>	<p>(現況) ・久美浜湾沿い、箱石などに貴重な特定植物群落や昆虫・鳥類などの分布が見られる。また、保安林も広く分布している。そのため、これら生息・生育環境や自然植生などの保全・活用が必要。 ・小天橋など地域を代表する優れた海岸景観への配慮が必要である。</p> <p>(地域の意見) ・海岸ゴミの回収、重油流出等への対応</p>	<p>多様な自然環境 ・トウテイランなどの 海浜植物 特色ある景観 ・小天橋など 海岸ゴミ</p>	<p>(現況) ・久美浜海岸、浜詰海岸など海水浴や久美浜湾なども含めたマリッジなどアウトドアが盛ん。</p> <p>(地域の意見) ・利用のルールやマナーの啓発などによる安全対策や利用しやすい施設づくりが必要。</p>	<p>海水浴場の利用 アウトドア 安全対策 利用しやすい施設 自然環境と利用者の調和</p>
網野町 丹後町	<p>(現況) ・日本海に直接面している砂浜海岸は、一部侵食傾向がみられる。 ・漁港が多く水産業が盛んであるが、荒天候により安全性の確保が困難となっている。そのため、漁港区域の安全確保が必要である。</p> <p>(地域の意見) ・十分な工法等の検討</p>	<p>海岸侵食 ・後ヶ浜海岸など 漁港区域での安全性 工法の検討</p>	<p>(現況) ・琴引浜、後ヶ浜、経ヶ岬などに貴重な特定植物群落や昆虫・鳥類などの分布が見られるため、これらの生息・生育環境や自然植生などを保全していくことが求められる。 ・琴引浜、立岩などの地域を代表する優れた海岸景観の保全も特に検討課題といえる。</p> <p>(地域の意見) ・鳴き砂の保全、海岸利用ゴミなど人的影響の緩和が必要。</p>	<p>多様な自然環境 ・ハマナスなどの 海浜植物 特色ある景観 ・琴引浜など 海岸環境の保護 ・琴引浜 ・海岸ゴミ など</p>	<p>(現況) ・浅茂川海岸、琴引浜、後ヶ浜海岸、久僧海岸など海水浴でにぎわう他、間人など漁業が盛んでカニを自当てにした観光客も多く、地域資源の保全・活用を含め調和のとれた計画が必要。 ・漁業などを利用した環境・体験学習も行われており、これを補完する施設整備も今後の検討課題となる。</p> <p>(地域の意見) ・海岸利用者のゴミや環境への啓発活動。 ・トイレの不足。</p>	<p>海水浴場の利用 盛んな漁業 地域資源の保全・活用 環境学習・体験学習 海岸利用のマナー</p>
伊根町 岩滝町 宮津市	<p>(現況) ・天橋立周辺では侵食傾向が強い。 ・伊根湾周辺では、地盤沈下の影響もあり、家屋への浸水被害が発生している。 ・海岸沿いの道路では一部で浸水がみられる。</p> <p>(地域の意見) ・壊れている箇所等の改修</p>	<p>海岸侵食 ・天橋立地区海岸など 浸水被害 ・伊根湾 ・道路護岸</p>	<p>(現況) ・岩礁海岸および背後地には、多様な自然環境が存在する。 ・天橋立や伊根の舟屋など丹後を代表する優れた景観を有するため、これら優れた海岸景観の保全および持続的な安定化対策が必要である。</p> <p>(地域の意見) ・野田川などの河川からの流出ゴミや漂着ゴミが多い。</p>	<p>多様な自然環境 特色ある景観 ・天橋立 ・舟屋 など 河川流出ゴミ</p>	<p>(現況) ・天橋立を中心に、周辺の観光も盛んである。特にこれらの資源は、海岸付近に多く点在するため、景観および利用を含めた整備検討が必要である。 ・海岸背後地には市街地があり、生活者と来訪者との調和を図りながら、持続的な地域資源の保全・活用を実現していき、海岸資源のネットワーク構築の推進も求められる。</p> <p>(地域の意見) ・海岸付近でのんびりできる場所がほしい。 ・トイレ等の不足による周辺環境の悪化。 ・釣り客のマナーの低下。</p>	<p>日本有数の景勝地 景観への配慮 生活者と来訪者の調和 地域資源の保全・活用 海岸資源のネットワーク 利用者マナーの向上</p>
宮津市 舞鶴市	<p>(現況) ・島陰、栗田などは、一部に砂浜侵食がみられる。 ・既設離岸堤が老朽化・沈下している由良、神崎海岸は何らかの対応が必要である。</p>	<p>海岸侵食 ・島陰漁港海岸など 離岸堤の老朽化 ・由良 ・神崎海岸など</p>	<p>(現況) ・由良川沿いの地域は、鳥獣保護区に指定されているなど、海岸および背後地に多様な海自然環境も多く、ハマナスなどの群生も自生することから、これらの保全・活用が必要である。</p> <p>(地域の意見) ・由良川からの流出ゴミが目立つ。 ・大規模海水浴場である由良、神崎海岸の保全施設が離岸などであり、景観に配慮すること。</p>	<p>多様な自然環境 ・神崎海岸 など 河川流出ゴミ 景観に配慮した施設整備</p>	<p>(現況) ・島陰や栗田、由良や神崎など美しい砂浜海岸を活用した海水浴場があり、夏を中心ににぎわいを見せている。しかし、砂浜の侵食や付帯施設の不足などにより十分な利用ができていない地域もある。そのため、砂浜の安定化や機能充実により地域の活性化へとつなげていくことが課題といえる。</p> <p>(地域の意見) ・海についてもっと積極的な活用をしてほしい。</p>	<p>京阪神から最も近い日本海側の海水浴場 利用機能の未整備</p>
舞鶴市(湾内)	<p>(現況) ・舞鶴の市街地は、低地が多く、特に西地区では高潮に伴う浸水被害が発生している。 ・古くから海岸保全施設を整備してきたため、一部に護岸の老朽化等による機能低下が伺えるため、対策が必要である。</p> <p>(地域の意見) ・老朽化施設の早期改修</p>	<p>高潮に伴う浸水被害 護岸の老朽化</p>	<p>(現況) ・舞鶴湾内は全域が鳥獣保護区となっている。 ・舞鶴湾内はリアス式海岸特有の入り組んだ地形と浮島の点在する風光明媚な場所であるため、その自然環境を含めた景観の保全は必要である。 ・湾内では、カキの養殖や鳥の生息地となっているため、自然環境への配慮が必要である。</p>	<p>多様な自然環境 リアス式海岸特有の入り組んだ風光明媚な場所 養殖業</p>	<p>(現況) ・釣り利用によるゴミの問題などがある。 ・湾内には眺望ポイントも多く、海岸景観の保全・整備も必要である。 ・湾沿いには、多くの観光施設が立地することから、海へのアプローチや広場など親水空間の整備なども必要となっている。</p> <p>(地域の意見) ・海についてもっと積極的な活用をしてほしい。</p>	<p>釣りでの利用 ゴミ問題 景勝地として活用 観光施設の立地 親水空間の創出</p>
舞鶴市(湾外)	<p>(現況) ・三浜漁港海岸、小橋漁港海岸、野原漁港海岸などでは侵食傾向がみられる。 ・小橋地区では、冬季の飛沫・越波による被害があり、侵食対策と併せた検討が必要となる。</p> <p>(地域の意見) ・侵食や越波対策への要望。</p>	<p>海岸侵食 ・三浜漁港海岸 ・小橋漁港海岸 ・野原漁港海岸 飛沫・越波被害 ・小橋 など</p>	<p>(現況) ・大浦半島には、貴重な植物群落や冠島のような動植物の生息地が多い。また、魚付き林と呼ばれる保全林も多く、貴重な巨木も存在する。そのため、これらの保全・活用を検討する必要がある。</p> <p>(地域の意見) ・海岸の漂着ゴミや釣り客などの利用ゴミも多く見られるため、これらの対策も必要。 ・地域資源の活用による活性化</p>	<p>多様な自然環境 動植物の生息地 漂着ゴミ・利用ゴミ</p>	<p>(現況) ・漁業を中心に、夏の海水浴でにぎわいを見せている。また、通年を通して釣り客も多い。 ・砂浜など利用する場所が生活空間と隣接することから、利用者と住民との調和が必要である。 ・近年は、漁業をいかした交流も盛んであり、冠島など地域文化や自然環境をいかした検討が進められている。</p> <p>(地域の意見) ・利用のしやすい施設整備</p>	<p>海水浴利用 釣り利用 砂浜と生活空間の隣接 地域資源の活用</p>